



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

クウェイト：第10期国民議会補欠選挙の実施

議会での首相への喚問要求が認められなかったことに抗議して辞職した5人の議員の欠員を埋めるため、6月26日、補欠選挙が実施された。72人（うち女性4人）が立候補した。

今次補欠選挙で当選した議員は以下のとおり。

第2選挙区（有権者数50,704人、立候補者数22人）

- ・アフマド・スレイマーン・カダイビー（2574票）
- ・アフマド・ハージー・ラーリー（1985票）

第3選挙区（有権者数78,601人、立候補者数31人）

- ・アブドゥッラー・ユースフ・マアユーフ（2228票）
- ・ファーリス・サアド・オタイビー（2137票）

第4選挙区（有権者数118,496人、立候補者数19人）

- ・ムハンマド・ナーシル・ラシーディー（7533票）

評価

今次補欠選挙は、4月27日に、国会議員を介した寄付疑惑を始めとする政策一般を質すため、ジャービル首相に対する喚問請求を野党議員3名が提出したことが発端である。議会は4月29日に同要求の拒否に対する採決をとり、賛成39、反対10で要求を拒否することを決定した。喚問要求を提出した議員3名はこれに抗議して辞職を表明、さらに2名の議員が同調した。5名の議員の辞職要求は5月15日に受理された。

クウェイトの議会は周辺地域において最も民主的と評されるものの、政府と議会はそれぞれ頻繁に解散と議員辞職を繰り返しており、政策を巡る熟議が成立するような環境にない。今次補欠選挙の当選者の中にも過去に議員を務めていた者が複数含まれているが、議員の入れ替わりの激しい議会制度が続く限り、今後クウェイト議会が健全に機能することは期待できない。

（村上研究員）

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799